



おすすめ児童書4月



啓林堂書店 外商部

担当 蔵田・長谷川・森川

Tel 0743-51-1000 / Fax 0743-53-5151

e-mail gaisyoubu@books-keirindo.co.jp

啓林堂書店HP <https://www.books-keirindo.co.jp>

▽ 幼稚園・保育園以上

	<p>いちご 文・絵 かがようこ ￥1,210</p> <p>なんだろう。なんだろうね。そう、いちご。たべちゃおっか。パクリ！ 語りかけながら読める絵本です。 たくさん出てくるいちごは、一つ一つ丁寧に描かれていて、 パネルシアターで使うPペーパーという紙を使って描かれています。 とってもふんわりやわらかな質感で、おいしそうです。 パクリ、食べちゃおう！</p> <p>ISBN 978-4-477-03073-9 大日本図書：2017年 発売</p>
	<p>たんぽぽ 文・絵 平山和子 監修 北村四郎 ￥1,320</p> <p>道端のあちこちに咲いているたんぽぽ。 そんなたんぽぽの生態が精密な絵でわかりやすく描かれる科学絵本です。 冬の間がどんな様子なのか、地面の下の根っこはどうなっているのか、 身近な花なのに知らないことがいっぱいです。 朝、昼、夕、と時間で変わる花の様子も観察してみよう。</p> <p>ISBN 978-4-8340-0470-0 福音館書店：1976年 発売</p>

▽ 小学生以上

	<p>だいぶつさまかぜをひく 文 荻田澄子 絵 中川学 ￥1,650</p> <p>仏像たちが動き出す絵本の三作品目。 今回は大仏さまが病気で倒れてしまいます。 いつも座っているのにしんどくて横になっている、マスクをしている大仏さま。 心配です。他の仏さまも集まってきます。薬師如来さまのお医者さんが診察すると、 のどが赤くてかぜのようです。大仏さまのくしゃみは迫力満点！鼻声も貴重です。 みんなの看病もあって、最後には元気になります。 カバーの裏に、登場する仏像の解説があり、理解が深まります。</p> <p>ISBN 978-4-7520-1135-4 アリス館：2025年 発売</p>
	<p>ホタルの光をつなぐもの 文 福岡伸一 絵 五十嵐大介 ￥1,430</p> <p>生物学者の福岡伸一さんが描かれた、命の繋がりを描いた絵本です。 女の子が川でホタルの幼虫を見つけます。そして、家の持ち帰って育てたい、 お尻の光るホタルを家で見たい、と言います。そこで、どうしたらできるのか、 何が必要なのかを考えます。ホタルの幼虫は貝を食べ、 えさになる貝は川にある藻を食べ、藻は光合成をするので、 太陽が必要だとわかります。女の子は、幼虫はこのまま自然の中にした方がいい、 と判断します。一つの命は、えさになるものや周りの環境、 いろいろなものが影響していることに気がきます。</p> <p>ISBN 978-4-8340-8840-3 福音館書店：2025年 発売</p>